

平成30年度各部の重点課題の取組結果

| | |
|-------|-------|
| 部(局) | 上下水道部 |
| 部(局)長 | 辰巳 伸一 |

【基本姿勢】

上下水道は、生活に欠かすことの出来ない水道水の供給、生活排水の処理、さらに降雨による浸水被害の防除など、市民生活を支えるとても重要なライフラインです。

この上下水道事業を取り巻く事業環境が、人口減少等に伴う水需要の減少や施設の老朽化に伴う更新需要の増大、また、近年増加している局地的大雨や台風に伴う浸水対策への対応などにより、年々厳しくなっています。

このため、上下水道部では、将来にわたり安定したサービスの提供を続けるため、これまで効率的な事業運営に努めています。

今年度についても、「便利で快適に暮らせるまち」の政策目標のもと、市民の方々が安心して快適に生活ができるまちを目指し、以下の取り組みを進めます。

水道事業では、「柏原市水道ビジョン」に基づき、老朽化した水道管路や施設の更新、整備を進め、災害に強い水道システムの再構築を計画的に進めます。また、当該水道ビジョンが平成30年度までの計画であるため、平成31年度から10年間の新しい事業計画を策定します。今後もこの計画に基づき、安全で良質な水道水を市民の方々に、安定的、効率的に供給することに努めます。

下水道事業では、「公共下水道整備第7次五箇年計画」に基づき、計画的に公共下水道の整備を進めるとともに、公共下水道の計画区域外における浄化槽の整備についても、引き続き進め、生活環境の改善と河川などの公共用水域の水質向上を図ります。

また、汚水被害から市民の方々の生命、財産を守るため、老朽化が進んでいる雨水ポンプ場施設の更新に向けた準備を進めるとともに、災害時の避難行動に役立てていただくため、内水ハザードマップを作成します。

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

| | 重点課題 | 平成30年度 達成状況 |
|---|-------------------------------|----------------|
| 1 | 水道管路、施設の効率的な整備、更新の推進 | A |
| 2 | 健全で持続可能な水道事業運営基盤の確立 | A |
| 3 | 計画的な汚水整備と生活排水対策の推進 | B |
| 4 | 浸水被害の軽減に向けた、雨水対策及び下水道施設の老朽化対策 | B |

| | |
|------|-------|
| 部(局) | 上下水道部 |
|------|-------|

重点課題 1 水道管路、施設の効率的な整備、更新の推進

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向
(中期的な目標) 安全で良質な水を安定的、効率的に供給するため老朽化した管路、施設の更新、整備を進めます。

| 活動目標 | 具体的な取組実績 |
|--|------------------------------------|
| 老朽化した管路約3.5kmを耐震性のある管で更新し、地震に強い水道管路を構築します。 | 耐震適正基準に適合している管で、3.5kmの更新を行える見込みです。 |
| 雁多尾畑配水池流量計及び東春日台ポンプ場流量計を更新します。 | 雁多尾畑配水池流量計及び東春日台ポンプ場流量計の更新を行いました。 |

| 達成目標 | 達成状況 | 達成度 |
|--|---|---------|
| 平成30年度末で、管路延長約257kmの内、約104.7kmの耐震化を行い、耐震適合化率40.7%を目指します。 | 全長約257kmの内、約105.0kmが耐震適合化され耐震適合化率は、40.8%となる見込みです。 | A 達成 |
| 安定した運転管理を行います。 | 安定した、運転管理を行えるようになりました。 | A 達成 |

総合評価・総括

管路更新において、重要幹線である玉手幹線や平成29年度に漏水し広範囲に影響の出た送水管を含む3.5kmを更新し、効率的、効果的な事業が行え安全性が向上しました。なお今年度の管路更新率は、約1.36%になると見込んでいます。

流量計については、測定精度及び計器の信頼性が向上し安定した運転管理が行え効率的な水運用が行えるようになりました。

| | |
|------|-------|
| 部(局) | 上下水道部 |
|------|-------|

| | |
|---------------|----------------------------|
| 重点課題 2 | 健全で持続可能な水道事業運営基盤の確立 |
|---------------|----------------------------|

| |
|--------|
| 全体の達成度 |
| A |
| 達成 |

| | |
|---------------------|--------------------------------------|
| 目指すべき方向 (中期的な目標) | 健全で持続可能な水道事業を実現するため、計画的、効率的な事業運営を行う。 |
|---------------------|--------------------------------------|

| |
|-----------------------------------|
| 活動目標 |
| アセットマネジメント手法を導入した、水道ビジョンの改定を行います。 |

| |
|------------------|
| 具体的な取組実績 |
| 水道ビジョンの改定を行いました。 |

| |
|---|
| 達成目標 |
| 平成31年度からの水道事業の健全経営を具現化できる、中長期的な計画を示します。 |

| 達成状況 | 達成度 |
|---|-------------|
| 健全経営が行える平成31年度から10年間の具体的な取り組みを示した水道ビジョンとすることができました。 | A 達成 |

| |
|---|
| 総合評価・総括 |
| 策定については、中長期の水需要予測、施設・設備・管路の状態調査、危機管理対策、そしてパブリックコメントの実施など、水道事業全般にわたる検討と市民意見を反映した、将来にわたり運営基盤の確立を行うにあたり目指すべき方向を示した水道ビジョンとすることができました。 |

| | |
|------|-------|
| 部(局) | 上下水道部 |
|------|-------|

| | |
|---------------|---------------------------|
| 重点課題 3 | 計画的な污水整備と生活排水対策の推進 |
|---------------|---------------------------|

| |
|----------|
| 全体の達成度 |
| B |
| 概ね達成 |

| | |
|---------------------|--|
| 目指すべき方向 (中期的な目標) | 「公共下水道整備第7次五箇年計画」に基づく、污水管渠整備を進めるとともに、引き続き、浄化槽設置による生活排水処理を進めてまいります。 |
|---------------------|--|

| 活動目標 |
|--------------------|
| 約6ヘクタールの污水整備を行います。 |
| 10基の浄化槽設置を行います。 |

| 具体的な取組実績 |
|-------------------------|
| 約6ヘクタールの污水整備が完了する見込みです。 |
| 新たに5基の浄化槽を設置しました。 |

| 達成目標 |
|------------------------------|
| 平成30年度末には、人口普及率約87.1%を目指します。 |
| 平成30年度末には、設置基数86基を目指します。 |

| 達成状況 | 達成度 |
|---|-----------|
| 平成30年度末までの人口普及率は、約87.1%の污水整備を達成する見込みです。 | A 達成 |
| これまでに設置した浄化槽の基数は、81基となりました。 | C 一部達成 |

| 総合評価・総括 |
|---|
| <p>公共下水道整備第7次五箇年計画に基づく計画的な污水整備を進めた結果、人口普及率87.1%を達成する見込みです。今後も第7次五箇年計画の最終目標であります、平成32年度末人口普及率87.6%達成に向け計画的に污水整備を進めます。</p> <p>また、浄化槽事業については、公共用水域の水質向上や生活環境の向上に向け、今後も引き続き事業を進めます。</p> |

| | |
|------|-------|
| 部(局) | 上下水道部 |
|------|-------|

| | |
|---------------|--------------------------------------|
| 重点課題 4 | 浸水被害の軽減に向けた、雨水対策及び下水道施設の老朽化対策 |
|---------------|--------------------------------------|

| |
|----------|
| 全体の達成度 |
| B |
| 概ね達成 |

| | |
|---------------------|--|
| 目指すべき方向 (中期的な目標) | 浸水被害を軽減するため、雨水対策を進めるとともに、老朽化した下水道施設の更新事業を進めます。 |
|---------------------|--|

| 活動目標 |
|--|
| 浸水の危険レベルを示す内水ハザードマップを作成し、自助行動啓発に役立てます。 |
| 雨水ポンプ場の耐震診断及び管路の点検調査を行います。 |

| 具体的な取組実績 |
|------------------------------------|
| 平成30年度、浸水想定区域図を基に内水ハザードマップを作成しました。 |
| 雨水ポンプ場の耐震診断と柏原地区の管路の点検調査を行いました。 |

| 達成目標 |
|---|
| 内水ハザードマップを完成させます。 |
| 施設及び管路の状況調査を完了させ、ストックマネジメント計画策定業務を進めます。 |

| 達成状況 | 達成度 |
|--|-----------|
| 内水ハザードマップが完成しました。 | A 達成 |
| 雨水ポンプ場の耐震診断は完了しました。 また、柏原地区の管路の点検調査が完了する見込みですが、国分地区については入札不調により次年度へ繰越します。 | B 概ね達成 |

| 総合評価・総括 |
|--|
| <p>今年度は、浸水被害軽減のソフト対策となる内水ハザードマップが完成しました。このため、来年度には、大雨の時期が来るまでにマップの配布を行い、自助共助の啓発を行う予定です。</p> <p>また、国分地区の管路の点検調査については、入札不調に伴い平成30年3月末の契約となり、来年度の7月末まで業務を進めていくこととなりましたが、今年度の業務は概ね達成しており、今後のストックマネジメント計画策定への影響はなく進めることができます。</p> |